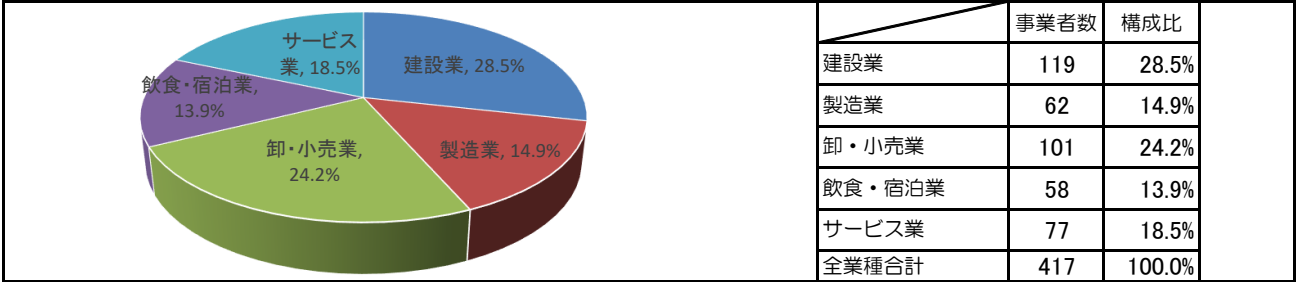


十日町市地域 企業景況調査 第3四半期報告書 (R2.10.1~R2.12.31) 川西地区

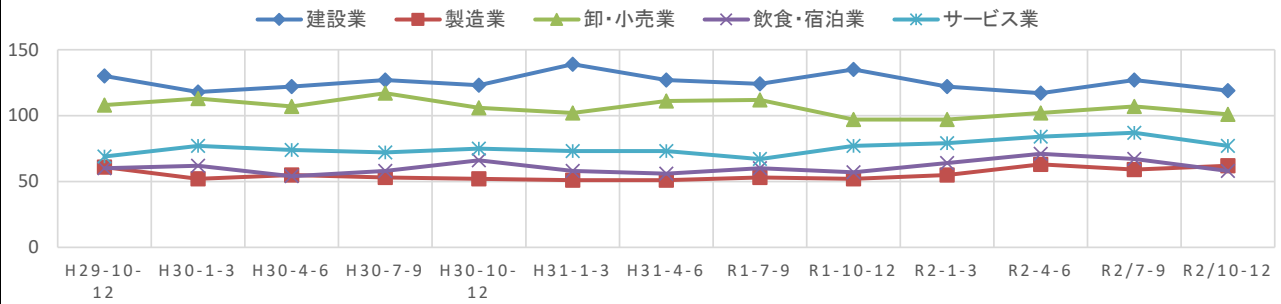
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



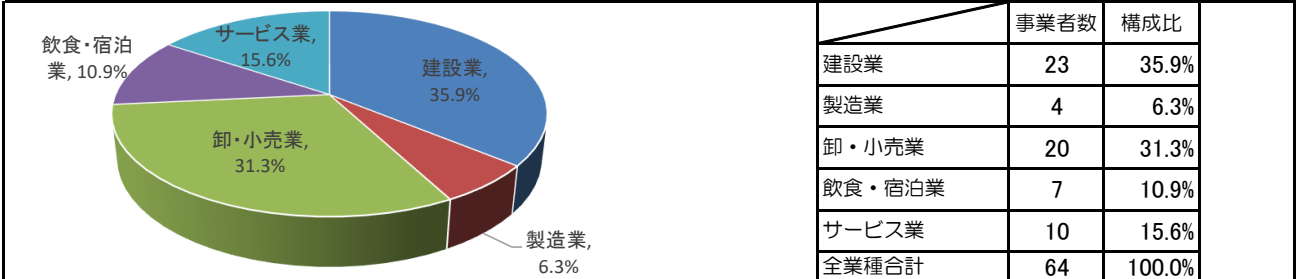
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



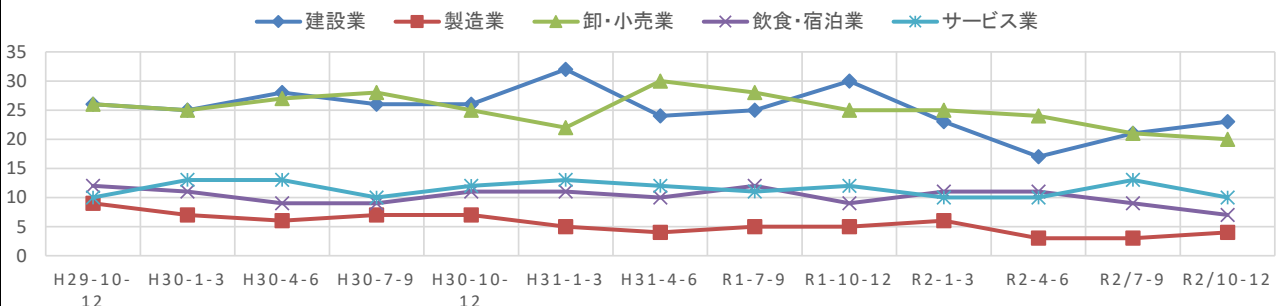
<コメント>

今回の調査回答は十日町市内の417事業所で、前回調査よりも30事業所減少している。製造業で若干増加しているものの、その他の業種はほぼ同割合で減少となっていることから、全体の業種構成割合は前回調査時とほぼ同割合となっていて、全体のバランスも大きな変動はなかった。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

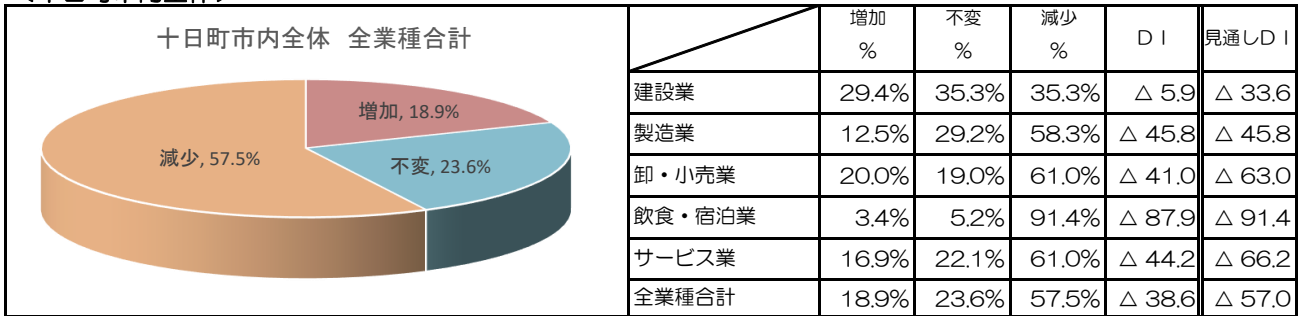
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、64社(回収率64%)からの回答を基にした集計結果である。製造業の割合が少ないものの、これまでの調査対象事業所数と同様の数値である。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

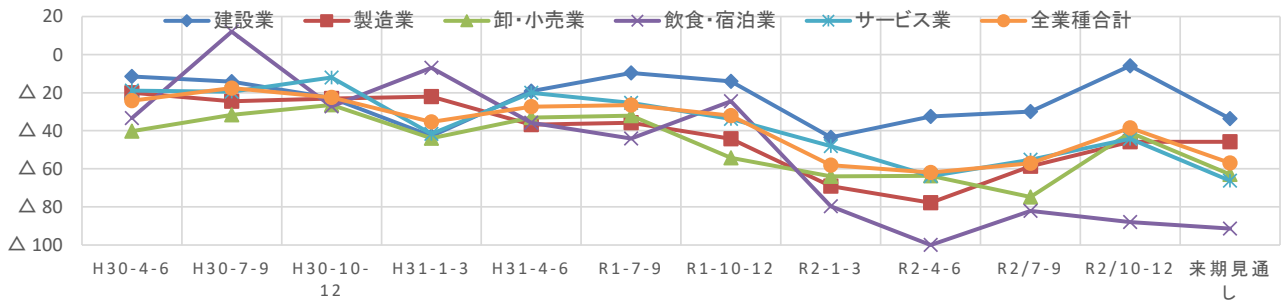
1. 売上について

- ・10月～12月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



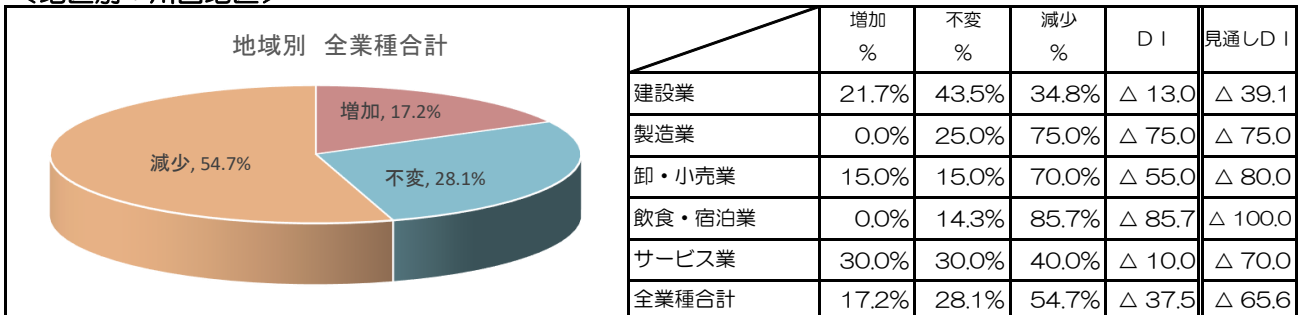
業種別売上の推移（市内全体）



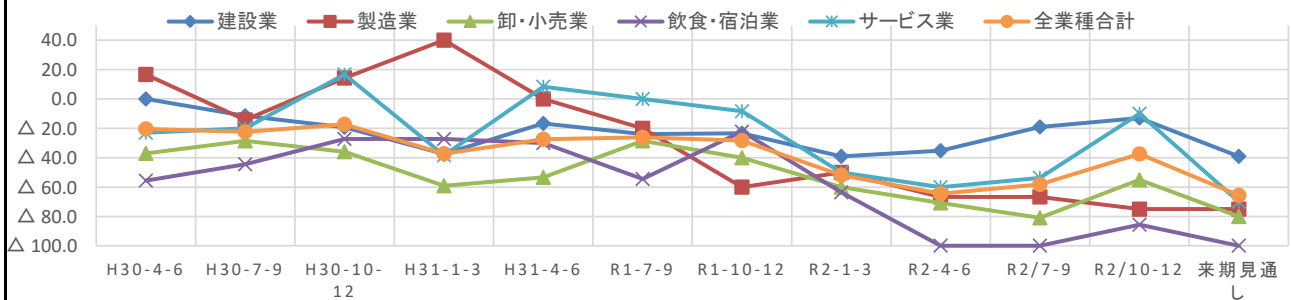
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△38.6ポイントで、前回調査時よりも18.5ポイント増加となっている。前回調査時の見通しにて飲食・宿泊業も増加良しくされていたが、新型コロナウイルス感染症の第3波の影響により年末の売上減少が今期の減少要因と推測できる。また、緊急事態宣言の再発令の影響からか、来期見通しも今期よりも減少すると予測されている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



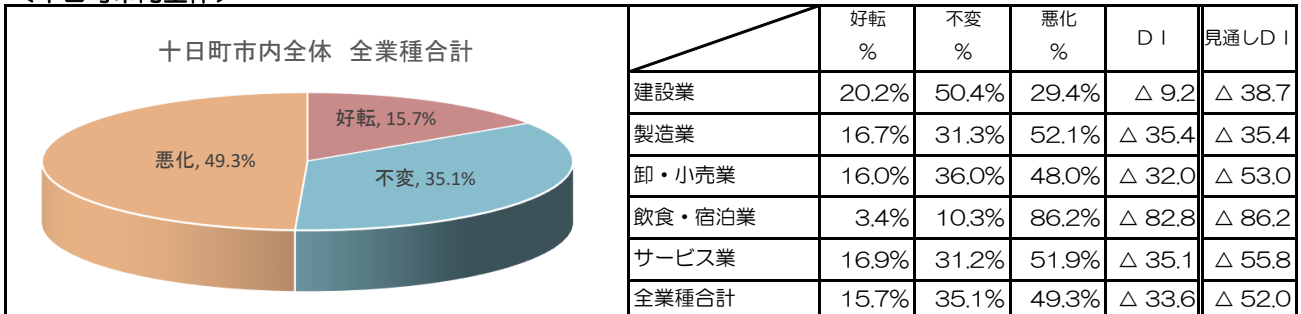
<コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△37.5ポイントの減少となっている。コロナウィルスの影響による売上減少幅が次第に抑制されてきているものの、製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業では依然として大きな影響が見受けられる。来期の見通しでは全業種で△28.1ポイントの悪化を予想している。

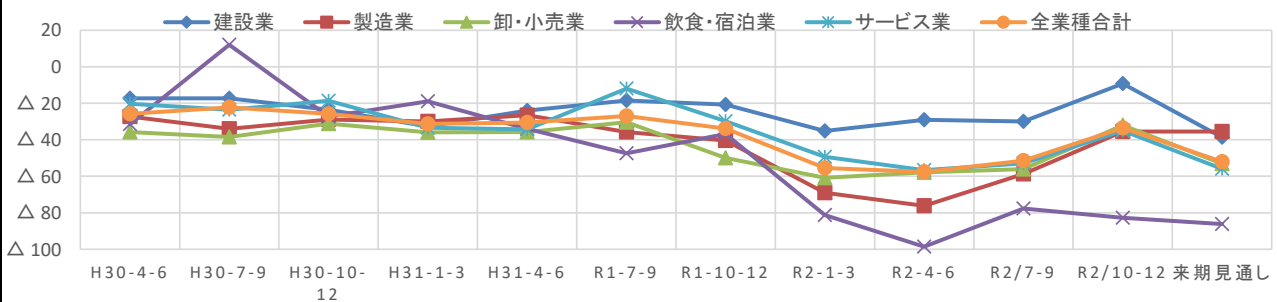
## 2. 採算について

- ・10月～12月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



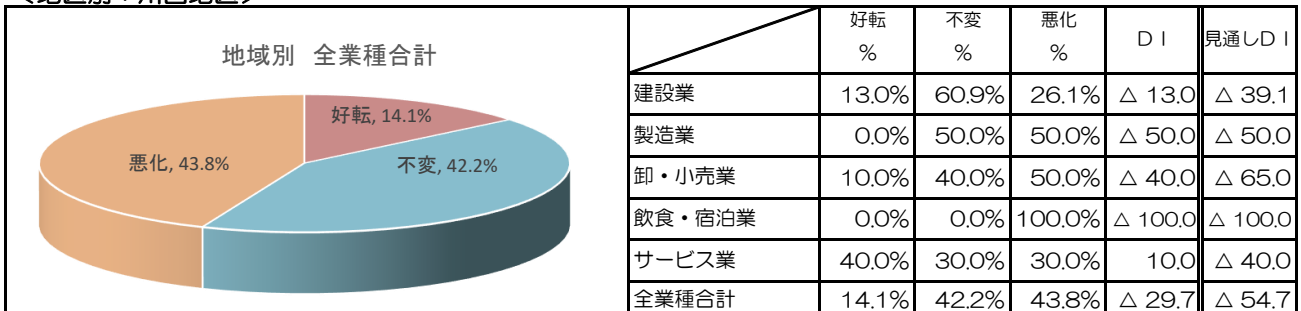
### 業種別採算の推移(市内全体)



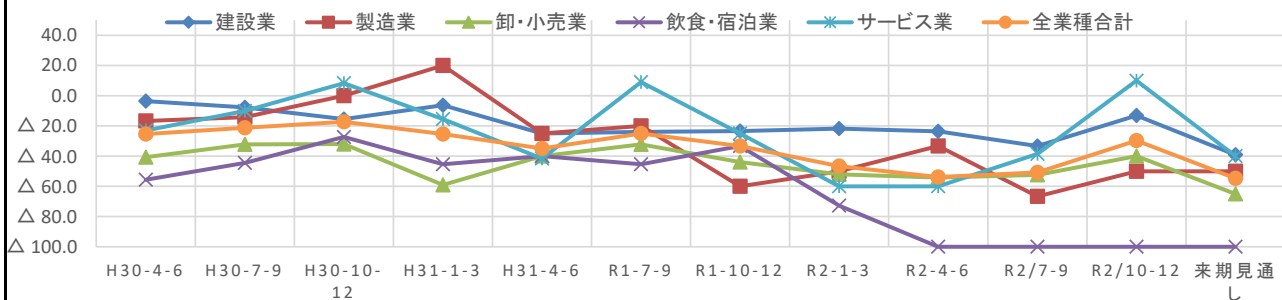
#### <コメント>

十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△33.6ポイントで、前回調査時よりも17.8ポイント好転している。飲食・宿泊業以外の業種で好転しているが、飲食・宿泊業は新型コロナウイルス感染症の影響を受けての悪化と思われる。さらに来期見通しも好転予測している業種は無く、今期よりも悪化することが予測される。

### <地区別：川西地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



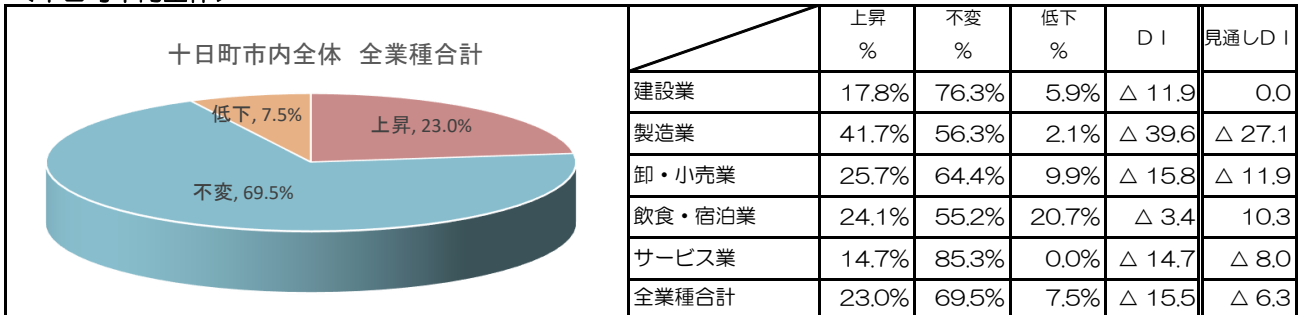
#### <コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較し、全業種で△29.7ポイントの悪化となっている。中でも飲食・宿泊業では調査対象企業の全てで悪化との見方が示されている。来期見通しでは△25ポイントの悪化を見込んでいる。

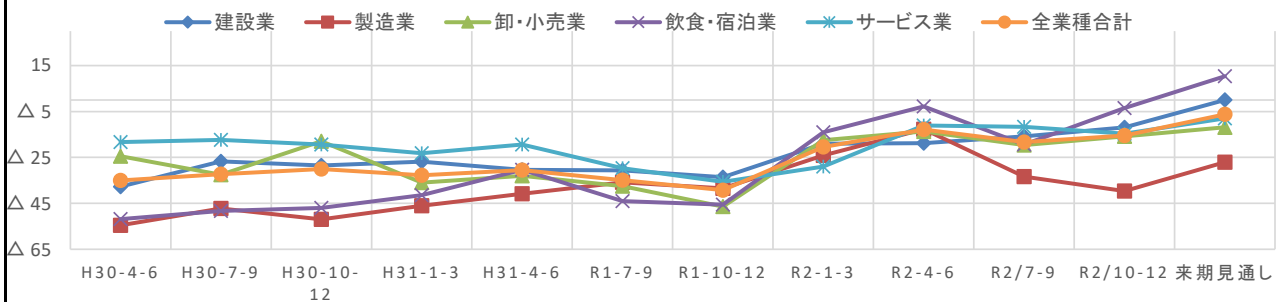
### 3. 仕入単価について

- ・10月～12月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>



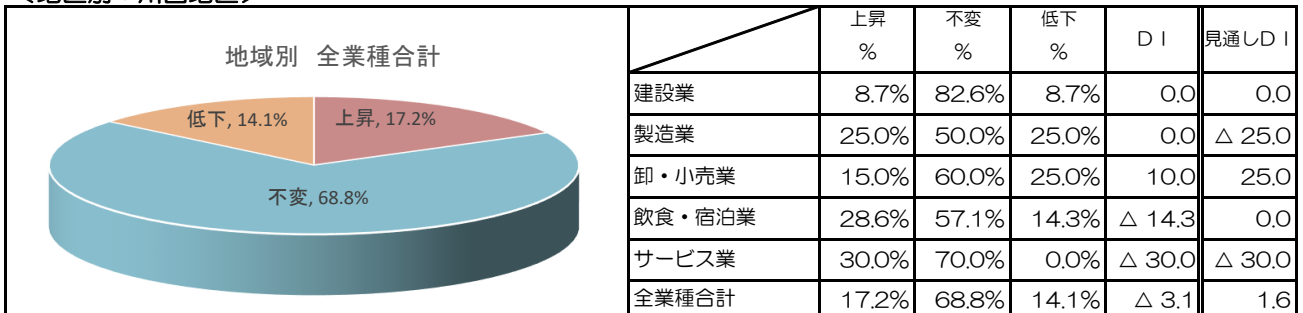
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



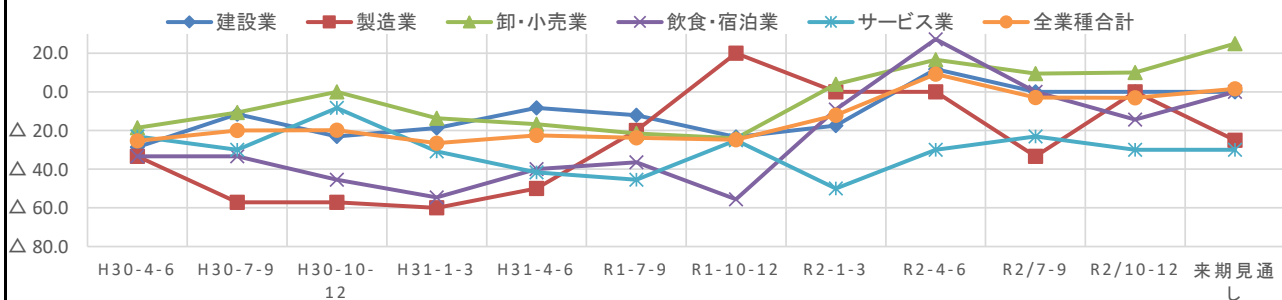
#### <コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△15.5ポイントで、前回調査時よりも2.8ポイント低下となっている。製造業とサービス業で若干の上昇が見られたが、その他の業種での低下が全体数値を下げている。来期見通しにおいては、全業種で低下予測しており、今期よりも単価減少があるものと思われる。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



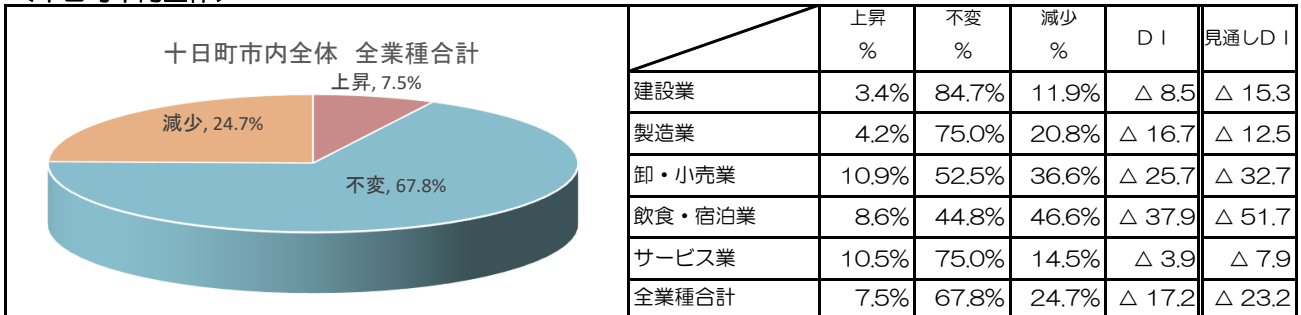
#### <コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して、△3.1ポイントの悪化を示しており、卸・小売業のみで仕入単価上昇が見られている。一方で飲食・宿泊業やサービス業で仕入単価の減少を示している。来期見通しでは4.7ポイントの単価上昇との見方がなされている。

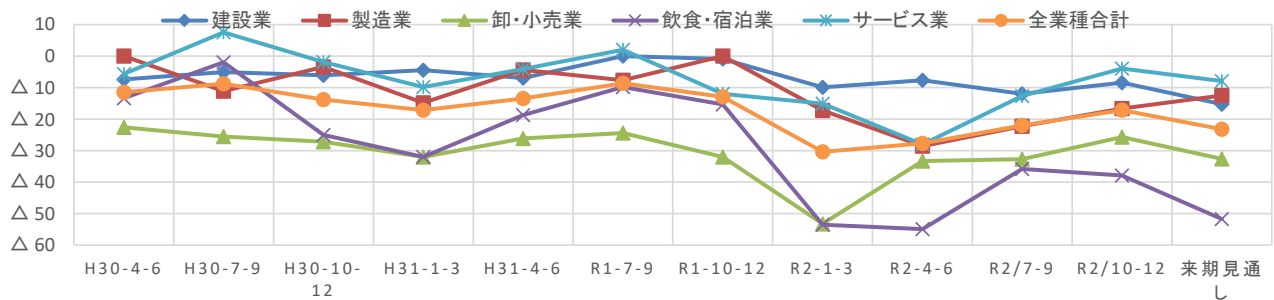
#### 4. 販売（客）単価について

- ・10月～12月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <十日町市内全体>



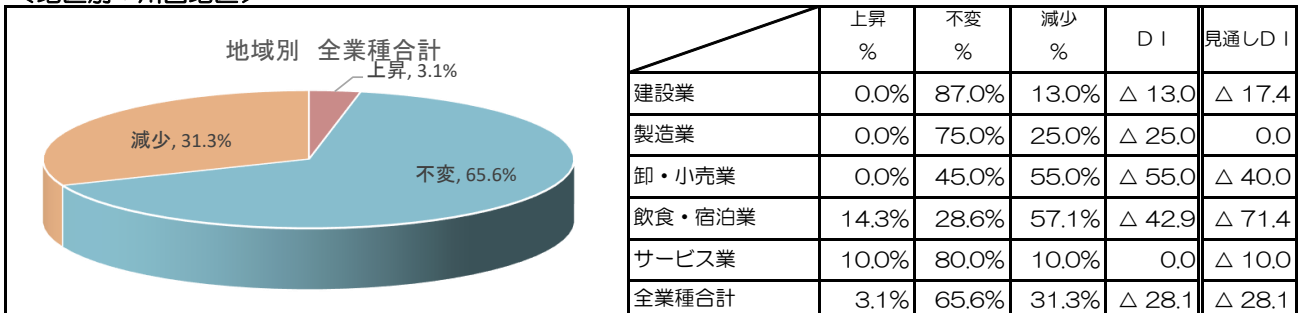
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



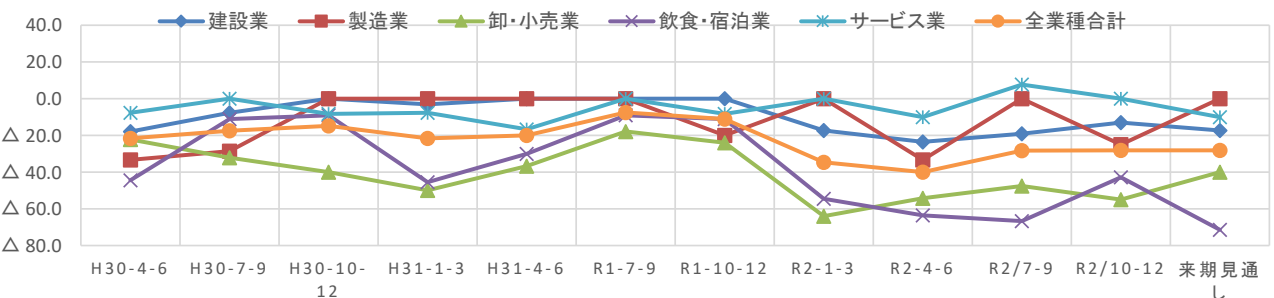
##### <コメント>

十日町市全体の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値△17.2ポイントで、前回調査時よりも4.8ポイント上昇となっている。飲食・宿泊業にて減少しているが、その他の業種で上昇を示しており全他の数値を引き上げている。しかし、来期見通しにおいては、製造業で上昇予測されているものの、その他の業種は減少予測されており、今期よりも減少予測となっている。

##### <地区別：川西地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



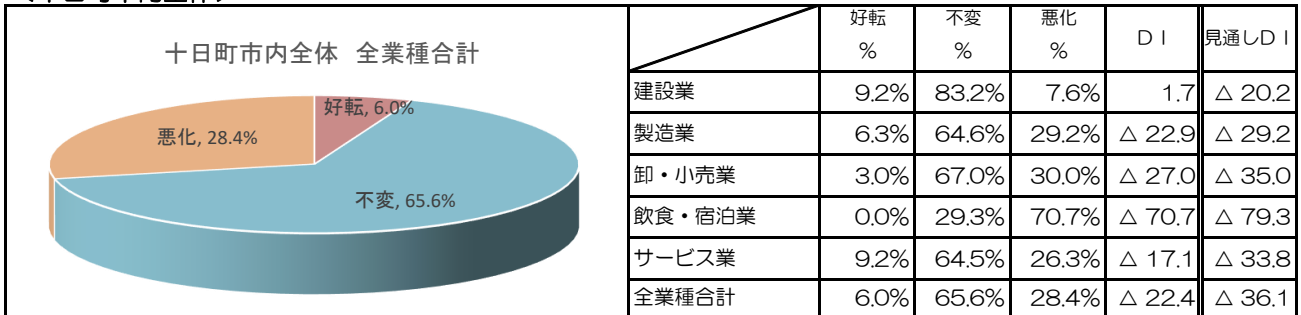
##### <コメント>

川西地域の販売単価は前年同期と比較して△28.1ポイントの悪化となっており、卸・小売業と飲食・宿泊業において大きなマイナスを示しているが、サービス業では変動なしとの回答が多かった。来期見通しでは全体を通して現状のDIと不変であると予想されている。

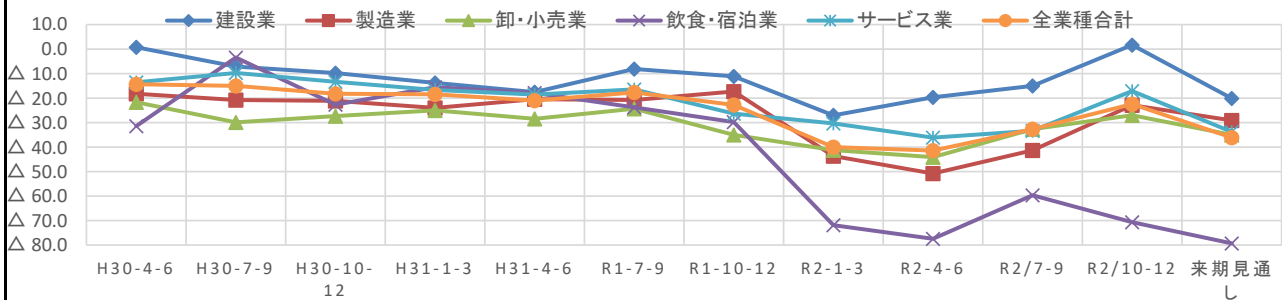
## 5. 資金繰りについて

- ・10月～12月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



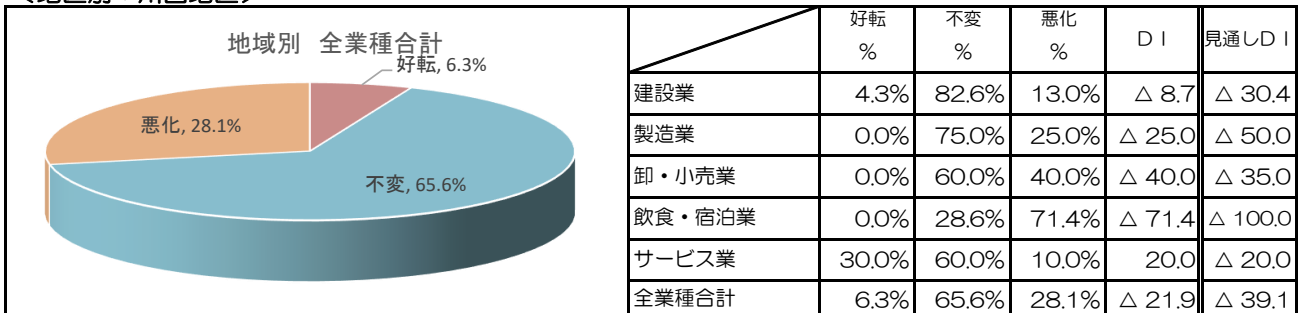
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



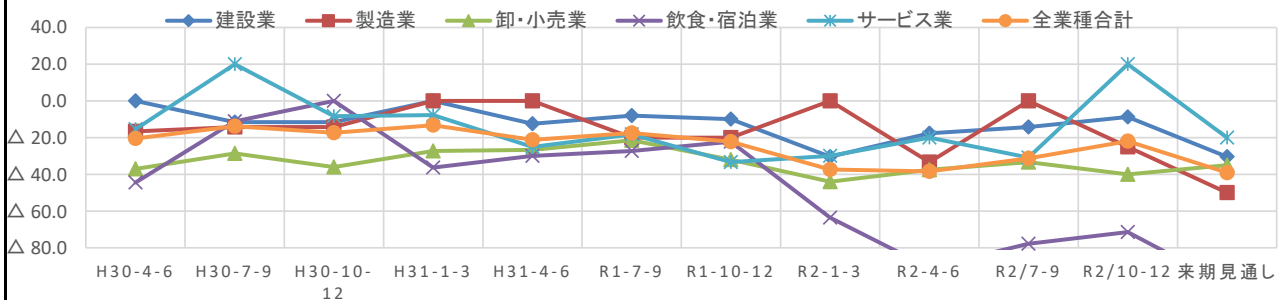
#### <コメント>

十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△22.4ポイントで、前回調査時よりも10.3ポイント好転している。飲食・宿泊業のみ悪化となっているが、その他の業種にて好転を示しており、全業種での好転引き上げにつながっている。しかし、来期見通しでは全ての業種にて悪化予測されており、今期よりも悪化することが予測できる。

### <地区別：川西地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



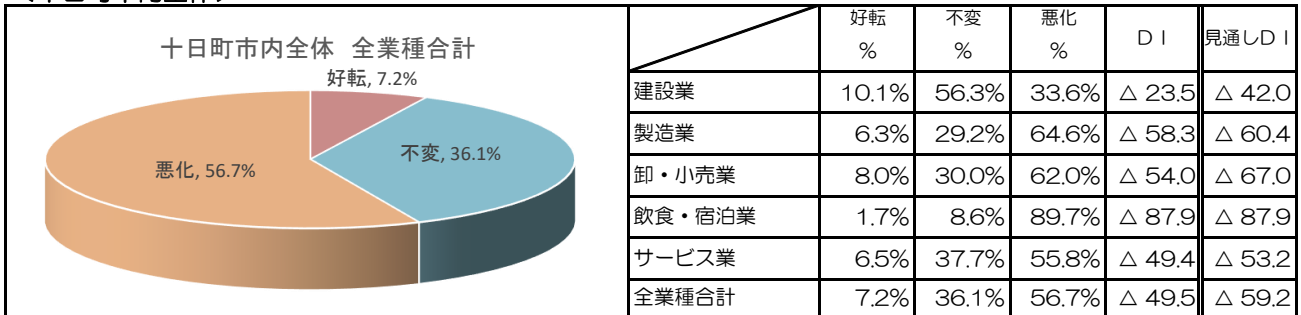
#### <コメント>

川西地域の資金繰りは△21.9ポイントの悪化であり、全体的に悪化との回答が多い中、サービス業では唯一改善との見方を示した。来期見通しは△17.2ポイントの悪化を予想している中、飲食・宿泊業のほとんどが悪化との見込みを立てている。

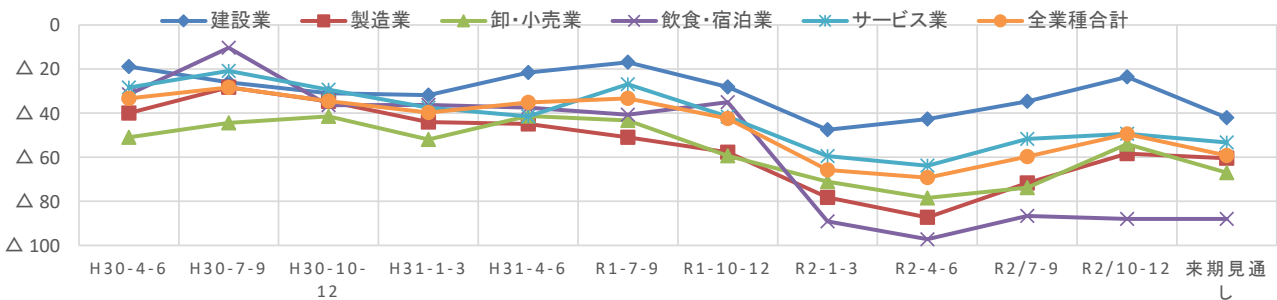
## 6. 景況判断について

- ・10月～12月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>



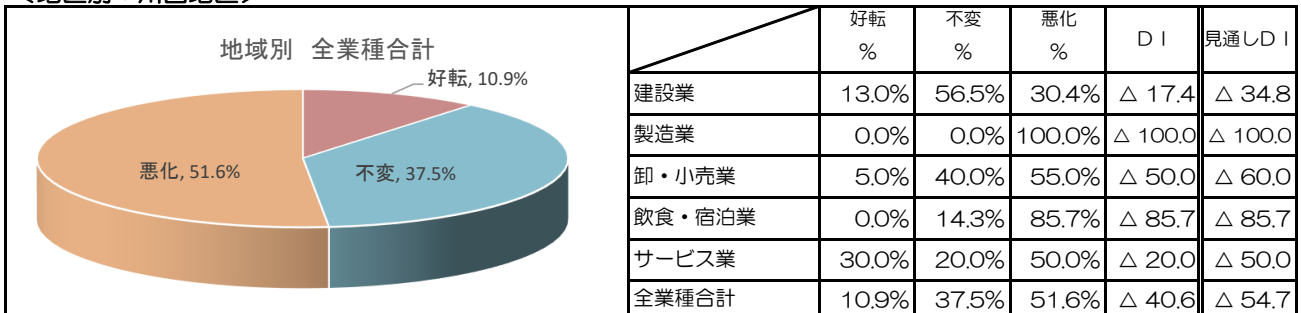
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



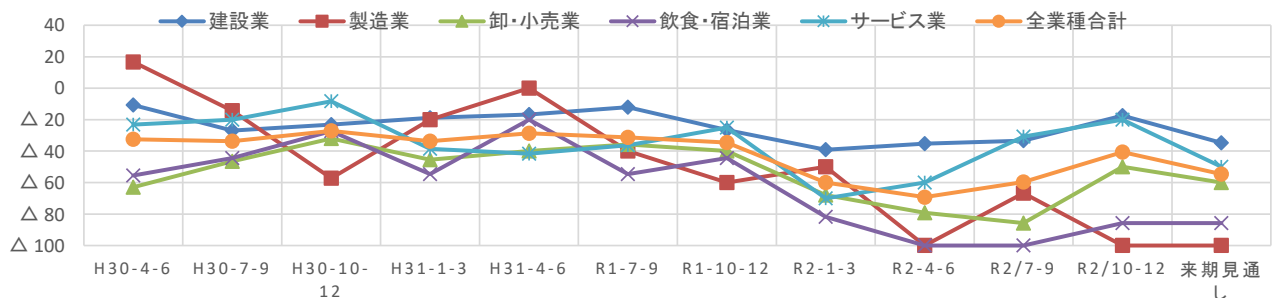
#### <コメント>

十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△49.5ポイントで、前回調査時よりも10.2ポイント好転となっている。飲食・宿泊業以外の業種にて上昇が示されており、業種全体の数値を引き上げている。ただし、他の調査項目と同様で、来期見通しにて今期よりも悪化予測されており、今後の動向に注視したいところである。

### <地区別：川西地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)



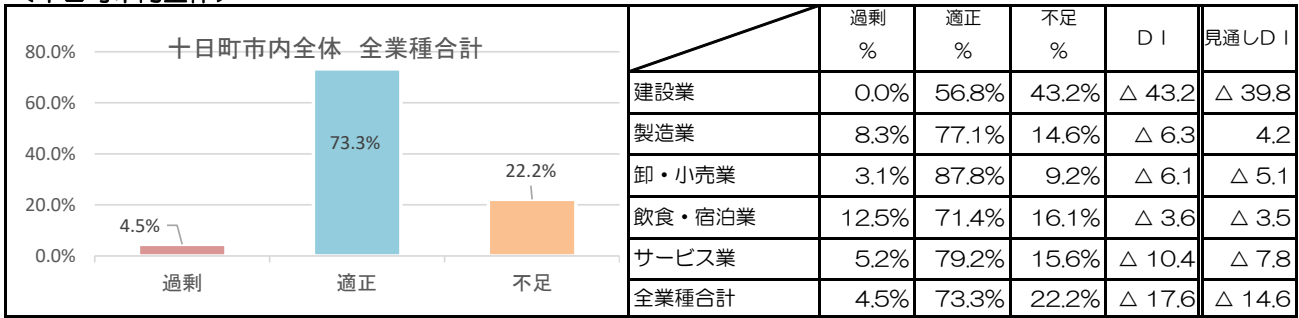
#### <コメント>

川西地域の景況判断としては全業種で△40.6ポイントの悪化を示す結果となっている。建設業、サービス業以外の業種で景況感悪化が顕著となっている。来期見通しとしては全体的に14.1ポイントの悪化が予想されている。

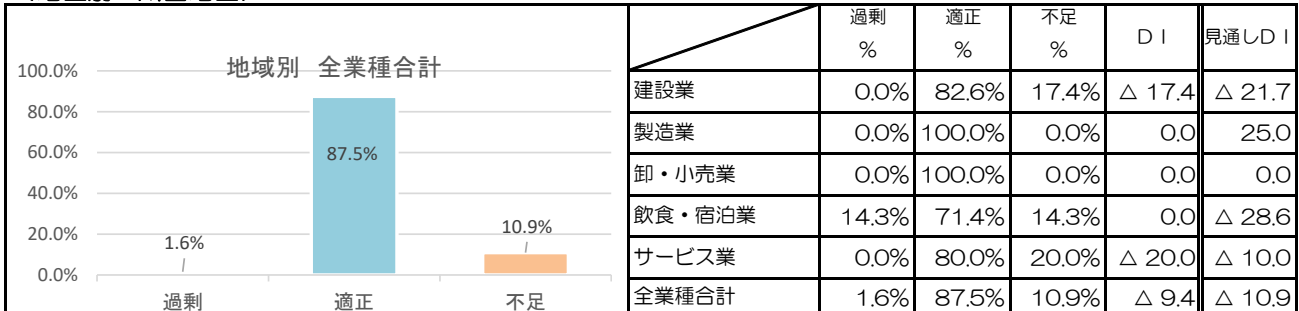
7. 従業員数について

・10月～12月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

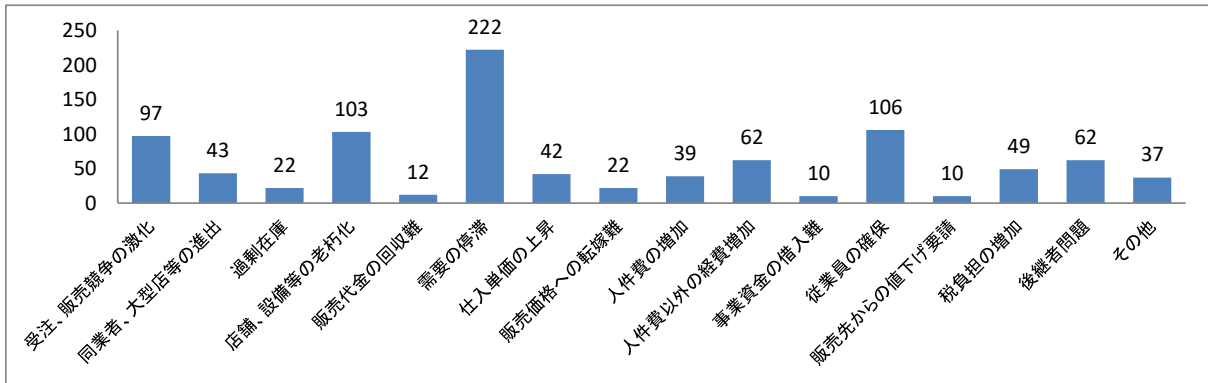


<コメント>

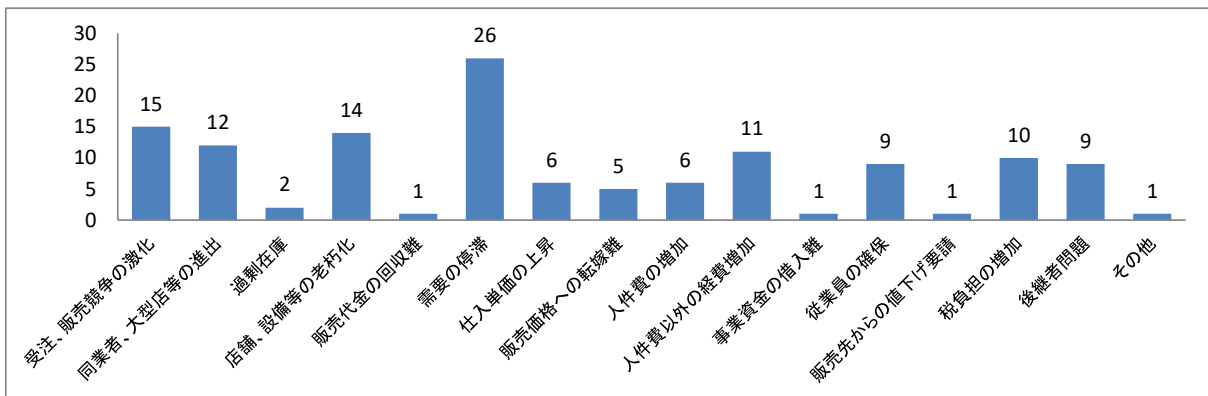
今期の従業員数（雇用動向）は、過剰回答が4.5%と前回調査時よりも1.1%減少し、不足回答が22.2%で前回調査時よりも0.8%減少した。川西地区の状況は1.6%の過剰と10.9%の不足であり、建設業とサービス業では若干の不足傾向があり、飲食・宿泊業は現況から見て人員過剰との傾向が伺える。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：10月～12月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位から4位までの順位に変動は無く、1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「店舗、設備等の老朽化」4位「受注、販売競争の激化」であった。川西地区の経営上の問題点は1位が「需要の停滞」、2位が「受注、販売競争の激化」、3位が「店舗設備の老朽化」であった。



## 9. 地区の景況概要

・10月～12月時点での全体概況は

### 【建設業】

建設業においては従来通り他業種と比較して新型コロナウイルス感染拡大の影響による悪化傾向が少ない状況にある。また、経営上の問題点としては1位「受注、販売競争の激化」2位「従業員の確保」3位「税負担の増加」が挙げられている。これまでと同様「従業員の確保」が1位である一方、「受注、販売競争の激化」といった課題を持つ事業所も増加してきている。

### 【製造業】

製造業においては景況感において大きな悪化を示しており、見通しにおいても改善の可能性が見えないといった回答が多かった。経営上の問題点としては「同業者、大型店等の進出」、「店舗設備の老朽化」、「需要の停滞」、「仕入単価の上昇」、「販売価格への転嫁難」と幅広い分野で課題が挙げられており、各事業所の抱える課題が多様化してきていることが伺える。

### 【卸・小売業】

卸・小売業においては全体的に大きな悪化との回答が多くなっており、仕入単価についても唯一、仕入単価上昇の兆しを見せている。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「同業者、大型店等の進出」4位「人件費の増加」5位「人件費以外の経費増加」が挙げられており、需要の停滞を感じている事業所が増加している傾向にある。

### 【飲食・宿泊業】

飲食・宿泊業においては全般的に大きな悪化傾向となっているが、仕入単価については若干減少している事業者もいることが伺える。経営上の問題点は1位「人件費以外の経費増加」2位「店舗設備の老朽化」、「需要の停滞」、「仕入単価の上昇」等が挙げられている。売上や採算の見通しについてはほとんどの事業者で悪化との見方を示している。

### 【サービス業】

サービス業では採算や資金繰り面で他業種と比較して唯一改善を示している。経営上の問題点としては前回同様に1位である「店舗、設備等の老朽化」に次いで、2位は「需要の停滞」「税負担の増加」が挙げられており、設備関係の改修・更新を考えている事業所が増加している傾向にある。